



日時：10月15日（土） 13：00～15：00

会場：オンライン ZOOM 開催

## ①神奈川県立こども医療センターにおける NICU 患者・家族支援

時間：13：00～15：00

講師：神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター長

新生児科部長・臨床研究所副所長 豊島 勝昭 氏

(横浜市立大学循環制御医学教室客員准教授)

## ②地域で支える子どもの発達とケア（就労・自立支援）

時間：15：15～16：15

講師：ダンウェイ株式会社 代表取締役社長 高橋陽子氏

参加者数：18名（会員14名、非会員4名）

### 主催者から

①低出生体重児や NICU の患児を捉える際に将来を長く見据えて考える事、対象の人生・生活を理解することが大切であると学んだ。保護者や家族にとっては児との生活は長く続き、身体的な不自由や明確な発達の遅れだけではなく、就学後に明らかになる「生活のしにくさ」（本人も家族も）とも付き合っていかなければならない事をどれだけ考えていたのか、自身を振り返る機会となった。児が出生し、家族の再構築を支援するために何が出来るのか、具体的に行われている支援を知り、家族全体を支えることの大切さについて考えを深める機会を得た。

②自身のこどもの障害を受け止めるまでの実際を伺い、当人とその家族の大変さを改めて考える機会をいただいた。また、障害のある方の個性を見つめ、個々に応じて支援をすることで、1人1人が大きな力を発揮し、就業に結びつくことができる実際を知った。写真の表情が誇らしく、社会の中で役割を持って生活することの大切さを感じた。支援の考え方、仕方次第で可能性は広がるのだと思った。

### 参加者から

・豊島先生の講義について、早産で生まれた子どもの発達にとって、家族の関わりがとても大切である事知ることができた。NICU という環境下でも治療だけでなく家族の面会がしやすいような工夫をしたり、入院中から自然に家族の関係が出来るような関わりをされており、常に赤ちゃんと家族の未来を考えたケアをされていて志の高さに感動しました。

・NICU のある病院に勤務しているので、考え方、活動、全て参加になった。自分の病院の NICU での取り組みにも注目してみようと思った。参加人数も多くなかったので、自分の気になっていたケースについても質問できて、参考になるお答えをいただきとても良かったです。

・高橋陽子先生の講義について、障害を突きつけられた時の親御さんの気持ちも改めて知ることができた。障害者の就労支援の視点も使いやすいツールの開発や、個々の強みを生かした仕事のやり方など とても勉強になりました。誰にでも社会での役割が必ずある、貴重な話しが聞けて本当に良かったです。